

2022 年度 三重大学人文学部法律経済学科

## 3 年次編入（一般「学力」・社会人）試験

### 「論述試験」注意事項

1. 課題図書：志賀賢治『広島平和記念資料館は問いかける』（岩波新書、2020 年）は、試験会場に持ち込んで参照することを認めます。
2. 試験時間は 1 時間 30 分です。
3. 配布物は以下の通りです。
  - (1) 「論述試験」注意事項（この用紙）
  - (2) 問題用紙 1 枚
  - (3) 解答用紙 7 枚
  - (4) 下書き用紙 6 枚
4. すべての解答用紙には、受験番号欄が付されています。  
下書きには、受験番号欄のない下書き用紙を使用してください。
5. 解答用紙の指定された欄には、必ず受験番号のみ記入してください。  
(氏名は記入しないでください)
6. 問題用紙、下書き用紙は持ち帰っても構いません。

## 問題用紙

課題図書：志賀賢治『広島平和記念資料館は問いかける』、岩波新書、2020年

問題1 以下の文章が著者の主張として正しいかどうかを判定し、正しければ解答欄に○をつけ、正しくなければ誤っている箇所に下線を引き、解答欄にどこが誤っているかを簡潔に説明しなさい（解答用紙に記入しなさい）。

- ① 「きのご雲」の展示を、米軍撮影の空からの写真から、地上から撮影された写真のみに変更した理由は、原爆の威力をより正確に表現すると考えたためである。
- ② 原爆は強烈な「熱線」「爆風」「放射線」を放出し、それらが複雑に作用して大きな被害をもたらした。その中でも通常爆弾と決定的に異なっていたのが「放射線」の放出であり、被爆者の子どもにも明らかに有害な遺伝的影響が見ついている。
- ③ 広島平和資料館では当初から原爆資料の永久保存を視野に入れていたが、専門の学芸員を確保して資料の整理、展示、保存に当らせる状況になるのは1970年に入ってからであり、それまでは学芸員としての知識を持たないという意味での素人である市職員が管理を行っていた。
- ④ 広島平和資料館は原爆の被爆資料の収集および永久保存を通じて原爆被害の悲惨さを世界に訴えかけることを目的としており、原子力平和利用に関する資料を対象とする原子力博物館は目指したことはない。

問題2 次の問いに答えなさい。

- ① いわゆる「被爆再現人形」撤去問題についての著者の説明を300字程度で説明しなさい。
- ② 「フォーラムとしてのミュージアム」とは何か。また、「フォーラムとしてのミュージアム」について著者はどのように考えているか。300字程度で説明しなさい。

問題3 今回（2019年4月本館の展示更新工事完成）の展示更新の際に認識されていた課題およびそれを解決するために行われた工夫について、「感性の本館」「情報の東館」の用語を用いて、500字程度で説明しなさい。

問題4 著者は広島平和資料館がどのような場所であるべきだと考えているのか要約しなさい。また、著者の考えに対して、広島平和資料館をはじめとする国内外の「負の歴史の記憶を繋ぐ博物館」はどうあるべきだとあなたは考えますか。著者の考えの要約およびそれに対するあなたの考えを600字程度で述べなさい。